

令和 7 年度指定避難所開設訓練 (区防災カルテ事業)

実施日：令和 7 (2025) 年 7 月 26 日 (土) 9:30～11:00

場 所：愛知小学校 特活室、講堂 & 防災備蓄倉庫

主 催：防災安心まちづくり委員会

I : 参加者(19名)「行政」「施設管理者」「地域」の三者にて実施

- ・ 中川区役所地域力推進課 藤井課長、
- ・ 愛知小学校 岡島教頭先生
- ・ 防災安心まちづくり委員会推進委員
加藤委員長(指定避難所代表管理者)、松芳副委員長(施設班長)
後藤(久)推進委員(食料班長)、北川推進委員(施設班)、
冨松推進委員(近隣協力員)、早瀬推進委員、大矢推進委員
- ・ 指定避難所管理運営役員
石塚総務班長、後藤(文)物資班長、桑子救護班長
加藤(茂)副代表管理者(愛知コミセン)、小塚女性防災リーダー
- ・ 災害対策委員 & 自主防災会長
安井校北町内会長、奥村一西町内会長、森福西町内会長
秋田愛東自主防災会長、安井(勝)近隣協力員

II. スケジュール

9:30～10:00 自己紹介、帳票 & 持参ファイル、学区HPの確認

- ・ 本配布帳票「令和7年度避難所開設訓練について」
- ・ 事前配布①令和7年度避難所開設訓練実施について(資料7)

別紙2ー令和6年度各学区質問事項に対する回答一覧

②名古屋地区防災カルテ中川区愛知学区(令和7年3月31日)

- ・ 本配布③事前準備編 指定避難場所愛知小学校(令和5年版)

* 愛知学区災害用備蓄品の現状と問題点 (⑫ & ⑬ページ参照)

行政への問題提起・質問・要望

学区HP → 「安心・安全な暮らし」の情報

- ◆ 地域防災について ◆ 避難所開設について ◆ 指定避難所の運営マニュアル
- ◆ 避難所事前準備 ◆ 避難所図面(愛知小学校) ◆ 感染症対応(愛知小学校)
- ◆ 避難所情報 ◆ 備蓄物資及び指定難所機材ガイドブック
- ◆ 避難場所の運営体制

- 10:00～10:30 避難所の鍵・設備の確認と実施訓練
- ①鍵及び避難所運営キーボックスの使用可否確認
【避難所開設にかかる動線と保管者】の確認
 - ②非常用発電機 2 台の運転確認⇒**運転作動確認**
 - ③非常用公衆無線LANアクセスポイント等の資材設置
作業実施と接続確認⇒**参加者スマホにて接続確認**
- 10:30～10:45 資機材・備蓄物資の所在場所と現物確認
- ④中校舎 2 F 備蓄倉庫の保管物資の品目物資確認
 - ⑤**防犯ブザー(5 個)**「避難所開設キット」内で保管確認
 - ⑥下水道直結式仮設トイレ設置マンホールの確認
地下式給水栓設置マンホールの確認
- 10:45～11:00 目的別屋内スペースの確認と設定(愛知小学校平面図参照)
- 「**福祉避難スペース**」：南校舎 1 階プレイルーム
(トワイライトスクール内)

愛知小学校指定避難所開設にかかる動線

1. 正門より進入 （鍵：正門）⇒ 正門の南京錠を開錠
2. 北校舎（体育館）西側外階段から2階へ
3. 北校舎と中校舎をつなぐ渡り廊下を通り、中校舎に入る扉を鍵で開けて、校舎の中へ （鍵：北校舎⇔中校舎渡り廊下）
4. 中校舎2階を西(右)方向進み、防災倉庫(1)を開錠
（鍵：防災倉庫①）
5. 防災倉庫(1)内のキーボックス(111)から鍵を持ち出して、各教室を開錠 例：北校舎東扉、体育館東入口扉、特活室

愛知小学校避難所キ一保管者

1. 近隣援助員(4点) : 冨松正彦 & 安井勝美

①小学校正門キ一

②北校舎(体育館) 東側入口扉キ一

③体育館2階東側入口扉キ一

④中校舎正面玄関キ一 (地震時対応)

2. 避難所代表管理者(3点) : 加藤俊孝

区役所愛知避難所担当(3点) : 地域力推進課長 藤井良和

①小学校正門キ一

②北渡り廊下2階中校舎入口扉キ一

③中校舎2階防災備蓄倉庫(1)キ一

3. 学校管理者(台風&水害予報時は学校にて宿泊)

岡島教頭先生

中校舎 2 階防災備蓄倉庫及び運営キーボックスの使用確認

⑦



防災倉庫内備蓄食糧・物資



避難所運営キーボックス

中校舎 2 階防災備蓄倉庫資機材

避難所開設キット & 受付キット



テレビ受像機 & 特設公衆電話



非常用発電機 2 台の運転確認と燃料ポンベの在庫確認

(1) ガスボンベ 2 式のセット



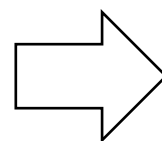
(2) 発電機の始動



中校舎2階 防災備蓄 倉庫



中校舎北側中庭1階防災備蓄倉庫



防災備蓄倉庫保管機材

災害用公衆無線LAN設置

下水直結式仮設トイレマンホール

⑪



接続確認



通信確認



地下式給水栓(南門前東側)

愛知学区災害備蓄品の現状と問題点

1. 現状の主な備蓄品・数量

備蓄品	愛知小	コミセン	計	1人当たり	1日必要量	維持日数	収容1/3として
(収容人員)※	308人	61人	369人				123人
アルファ米	1,200個	150個	1,350個	3.7個	2個	1.9日	5.6日
ビスケット	1,500個	300個	1,800個	4.9個	2個	2.5日	7.4日
飲料水	900L	156L	1,056L	2.9L	3L	<u>1.0日</u>	2.9日
簡易パック式トイレ	4,800枚	1,200枚	6,000枚	16.3枚	6枚	2.7日	8.2日
簡易様式便座	22箱	0箱	22箱				
毛布	600枚	100枚	700枚	1.9枚			
エアーマット		20個	20個				

※ 収容人数の設定は「防災カルテ」p20にあるように、(1人あたり2㎡)で算定

現状の備蓄品・数量の問題点

○飲料水は避難者の持参がないと圧倒的に不足する。少なくとも現在の3倍の備蓄数が必要。

○アルファ米は水があれば一応食べられるが、冬場を想定すると湯が必要になる。しかし、現状では湯を沸かす準備は皆無に近い。愛知小には赤十字寄贈の窯はあるが、LPガスの準備がない。コミセンには湯を沸かす道具は皆無。愛知小のカセットガスボンベは発電機用でカセットコンロはない。

◎現実的な避難人数は、現在の備蓄品数量からすると、1/3の123人程度と考えられる。

コミセンのエアマット数量、冬場想定 of 毛布数量から類推すれば。

2. 行政担当者への質問事項

○備蓄品の配布数量は、区の裁量ですか、市の裁量ですか。

○備蓄品の種類・数量について学区の要望を出すことはできますか。できるとすれば、どのように出せばいいですか。

○学区には段ボールベッドの備蓄は皆無です。名古屋市には段ボールベットの備蓄はありますか。あるとすれば、備蓄場所と備蓄数量を教えてください。

○飲料水の備蓄は、学区単位だけでなく、区単位や市単位で備蓄されていますか。あるとすれば備蓄場所と備蓄数量を教えてください。

○「防災カルテ」P20の(1人あたり2㎡)のフロアは、愛知小・コミセンのどのフロアですか。

3. 今後の備蓄品充実のための要望

◎飲料水の不足は死活問題なので、早急な対応が必要。

○湯を沸かす道具・燃焼材の備蓄。とりあえずLPガスボンベを早急に。

○カセットガスによる発電は短期的にしか利用できないので、大型の蓄電池と折り畳み式ソーラーパネルの配備を要望したい。